

税務署・税務調査の動向から商売の交流まで話題は多岐に、身近な班ならではの交流すすむ

支部馬場
石山猿ヶ

石山支部・猿ヶ馬場班は21日に申告相談班会を開催しました。申告書作成を終えた後は3、13当日に関する事、昨年は税務調査が増えた上に無予告での調査が行われたことについて話しました。

税務調査の話を受けて、過去に猿ヶ馬場班の会員で調査を受け、支部役員数名で立ち会った時の話などが出されます。調査の通知があった際には、すぐに調査日を約束せず準備ができるよう日程を確認して折り返し連絡すること、調査官が突然訪問してきた場合は後日連絡することとし、その日の調査は断ることができると説明。いずれの場合も支部役員や民商事務所に連絡することを確認しました。



支部内野
五十嵐

内野支部では26日、支部役員の古俣さん（不動産賃貸業）のアパートを会場にして申告書作成班会を開催しました。参加者の控除等の申告相談に古俣さんが乗りながら相談会はスムーズに進みました。申告書の作成後は署名や震災募金のお願いがされました。

その後、現在の商売の状況などが交流され、参加した飲食店業の方からは「SNSを使ってお客さんが知らないうちに店の情報を拡散してくれて新規のお客さんが増えていて忙しい」などの話も、建築業の参加者からは「アパートの建築を始め色々仕事が入ってきて忙しい。小学生と中学生の子どももいるから頑張らないと」など、活発に商売についての交流が行われました。



新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141

24年3月4日

日程

- ・ 第1回理事会 3月4日(月)
- ・ 国際女性デー 3月8日(金)
- ・ 重税反対全国統一行動 3月13日(水)

支部黒
黒支

黒支 申告相談会からの支部新年会を開催
インボイスから震災まで話題は尽きず

黒支支部では支部役員の丸山さん（建築業）が40余年前に建築した日本料理店の「山六」を会場に、2月26日に支部新年会を開催しました。



高橋支部長の挨拶で始まり、宴が進むにつれ支部申告会でのインボイス制度などの話題に。インボイス2割特例用の消費税計算シートを用いて申告書作成に奮闘し完成させた長谷川さんは、「税負担のみならず、このような専門家に頼らざるを得ないような事務負担を強いるのは言語道断。是正を訴えていかなければならない」と憤慨。また役員の丸山さんは「自分の身は自分で守れるように日頃から民商での自主記帳・自主計算を、これからも勧めていきたいと思います」と民商の自主記帳・自主計算運動への参加を訴えていました。

元旦に起きた地震被災についても話題に。昨年入会し、自身も被災し罹災証明が発行された三宅さん（建築板金業）から身近での状況の報告もされ、事業者の営業への影響を危惧していました。

能登半島地震募金にご協力ください

新潟民商でも40名程度の会員が被災しています。仲間にお見舞い金を届けるために募金活動を行なっています。募金へのご協力よろしくお願ひします。

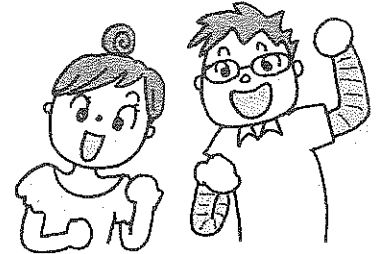
新商連が被災会員に御見舞金の支給を決定

- ・ 罹災証明・被災証明がある場合 …… 2万円
 - ・ 証明は無いが被災の実害のある場合…5千円
 - ※各証明書や写真等は提出しなくても大丈夫です。支部役員から確認をしてもらって下さい。
 - ※自宅のお皿が割れたなどの被害は対象外です。
- 詳しくは民商事務所へお問い合わせください。

2月も相談会や事務所に相談が相次ぐ 「相談は民商へ」の声掛けをさらに広く

インボイスの実施や物価高騰などの影響で、苦しむ業者からの相談が相次いでいます。今こそ「相談は民商へ」の声掛けを強める時です。

亀田支部では1月にチラシの新聞折込を行ない、2月に相談会を開催。



インボイスでの申告相談や税金・社会保険料の滞納などでの相談者が訪れ、1名が入会しています。その後もチラシを見た業者が「法人決算で相談したい」と入会。記帳会に参加した会外業者も「青色申告を活用して節税したい」と1名が入会、もう1名が入会を検討中です。

大江山支部では豊栄民商会員の従業員が独立開業で相談に。支部として久々の入会者を迎えています。また松浜支部では労働保険加入の相談で入会者を迎え、関屋支部では申告相談の業者が3月の相談会に参加して入会する予定です。

また東山ノ下支部ではウーバイーツの配送員が申告相談に訪れ、大形・南浜両支部では新規開業の業者が申告相談で相談会に参加し入会しています。

このような相談者のほとんどが「知人からの紹介」で民商を知っています。中小業者が大変な状況の中で「相談は民商へ」との声掛けは業者を励まします。知人の業者へ一声かける運動をさらに広げていきましょう。

新シリーズ・商売頑張る 掲載希望者を随時募集中です

毎週発行の「赤粋ニュース」にあなたのことを掲載しませんか。商売のを中心にお店のPRや民商の会員になったきっかけなど掲載します。投稿希望の場合は記事の他に写真もあわせて送付いただくようお願いします。

送り先は

メールアドレス minsyo@gamma.ocn.ne.jp

※投稿する前に事務局ニュース担当まで連絡をお願いします。パソコンが使えない場合は事務局が取材に伺います。

2024年国際女性デー新潟県集会

戦争する国づくりストップ! 守ろういのち・くらし・人権をかえるな憲法、核兵器禁止条約への参加を世界の女性と手をつなぎ、平和・ジェンダー平等へ!

日時 2024年3月8日(金)

14:00から15:45 集会

16:00から16:30 スタンディング

会場 新潟市万代市民会館 307・308 研修室

講演「ジェンダー平等と包括的性教育」

立教大学名誉教授 浅井春夫さん

参加無料です。どなたでもお気軽にご参加ください。

民商共済会から再検査費用の 助成期限が延長されました

民商共済会が実施した大腸がん検診で、陽性反応が出た方への再検査助成金の申請期限が2月末から3月末までに延長されました。

まだ再検査を受けていない方は早めに医療機関で受けるようお願いいたします。

共済会で実施した大腸がん検診で陽性反応の方で再検査を受けた場合の助成の内容は次のとおりです。

民商県連から5千円、新潟民商共済会から上限5千円(実費分)、合わせて上限1万円です。

助成を申請する条件として民商共済会へ加入していること、3ヶ月以内に再検査を受けることとなります。

